

Ⅲ 救急・救助

余 白

第1 救急活動の概況

1 救急業務実施体制

平成26年4月1日において救急業務を実施している市町村は41市町村で、県人口の99.9%がカバーされている。

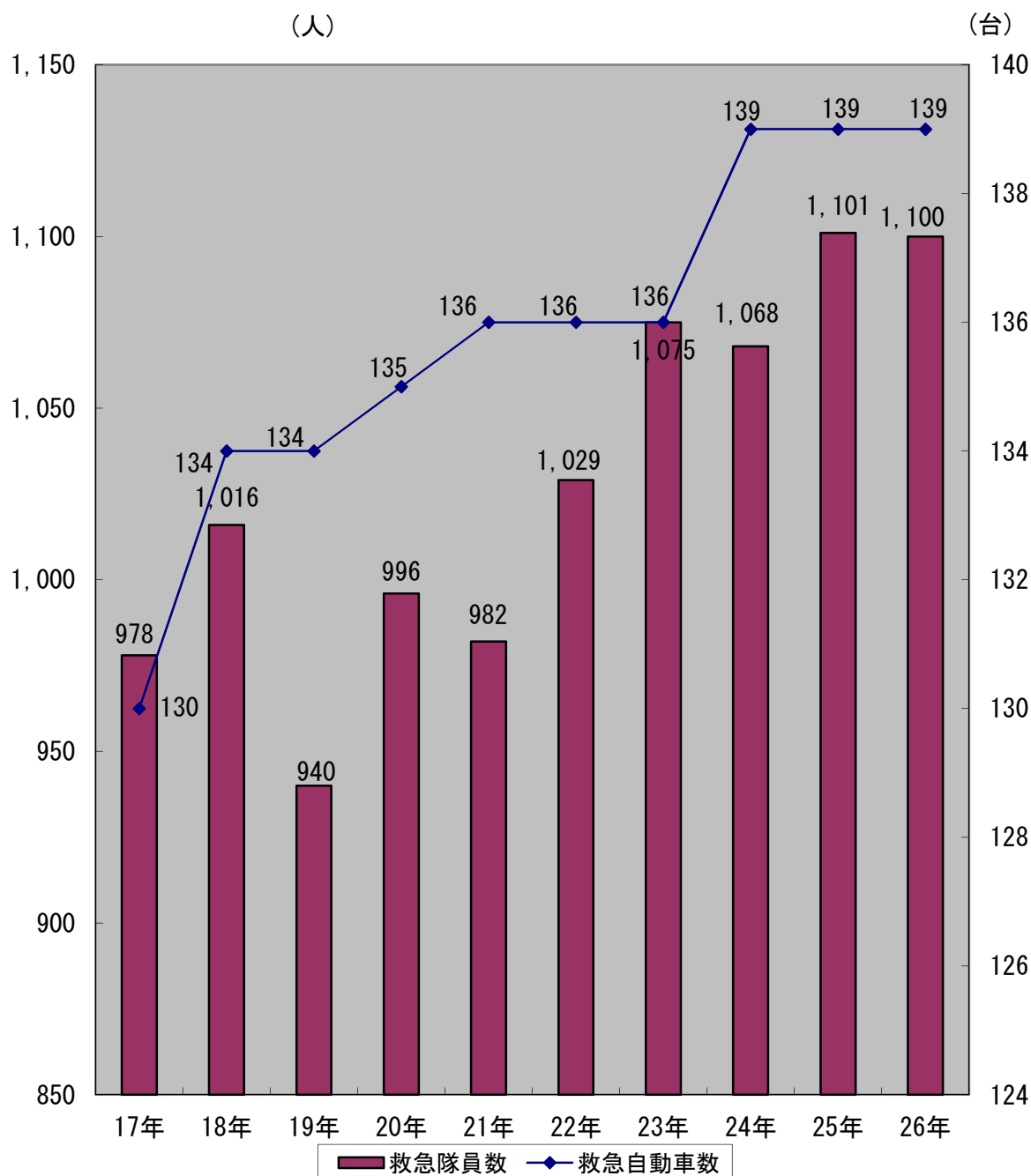
救急自動車の保有台数は139台、救急隊員は1,100人（専任309人、兼任791人）で、前年に比べ救急隊員は1人減少している。また、救急告示医療機関は95機関、その他医療機関は1,489機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成26年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計507名のうち442名が救急業務に従事している。

図-1 過去10年間の救急自動車及び救急隊員数の推移

(各年4月1日現在)



2 救急業務実施状況

(1) 概要

平成25年中における救急出動件数は76,165件、搬送人員は70,807人で、いずれも過去最多となった。

また、これを昨年と比べると救急出動件数は838件（1.1%）の増加、搬送人員は1,130人（1.6%）の増加となっている。

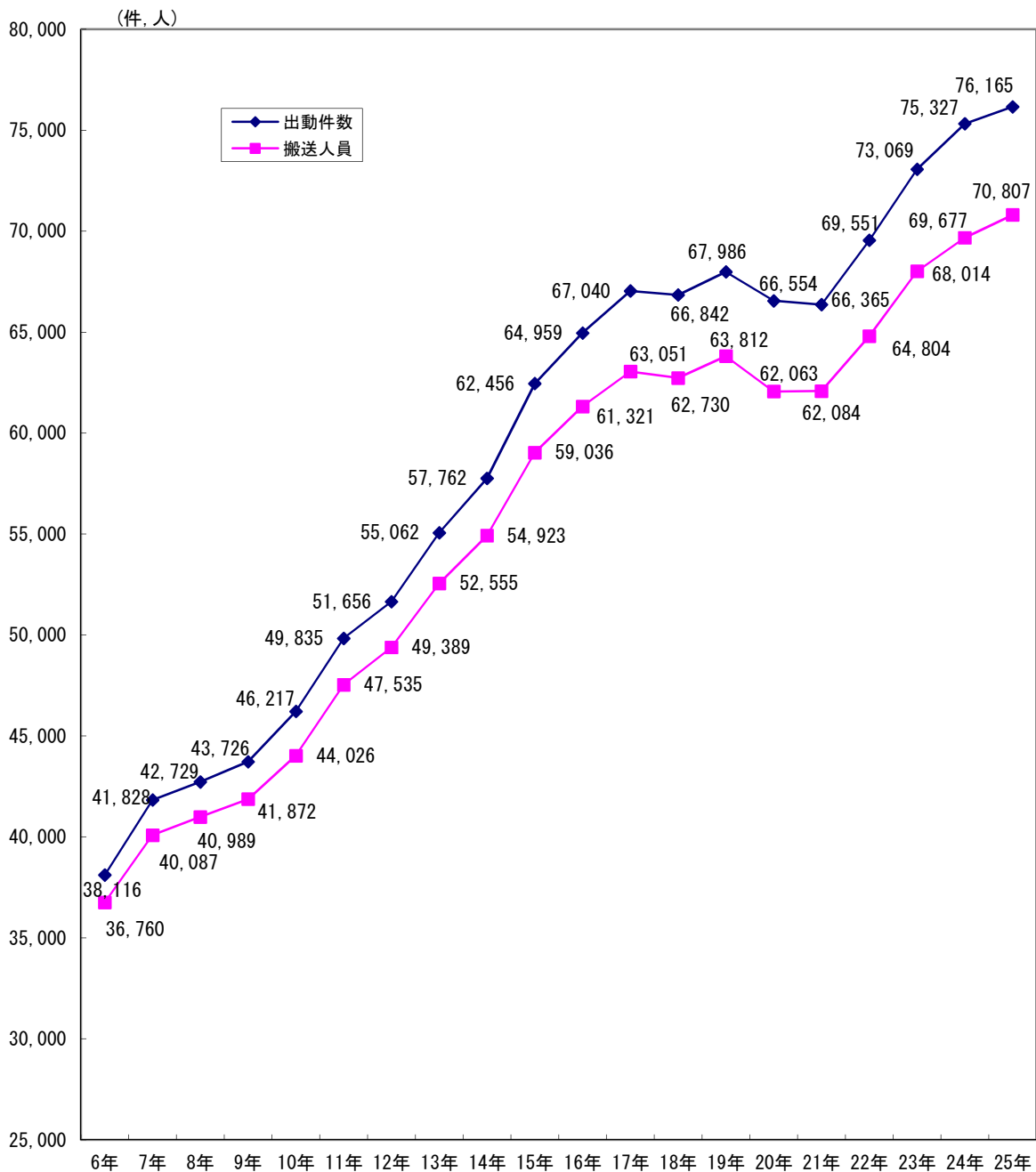
これは、1日平均208.7件（前年206.4件）、約6.9分に1回の割合で救急隊が出動し、また1日平均194.0人（前年190.9人）、約7.4分に1人、約24人に1人の割合で搬送されている。

事故種別救急出動件数は、前年と同じく1位が急病で44,101件（全体の57.9%）、次いで一般負傷10,087件（同13.2%）、交通事故が6,405件（同8.4%）となっている。

なお、搬送人員については、救急出動件数と同様、1位が急病で40,742人（全体の57.5%）、次いで一般負傷が9,462人（同13.4%）、交通事故が6,353人（同9.0%）となり、上位3位までで全体の約80.0%を占めている。

過去20年間の県内救急活動の推移は下図のとおりであり、これまで増加の一途をたどっていた搬送人員・出動件数は、平成17年からほぼ横ばいとなっていたが、平成22年から再び増加に転じている。

図-2 過去20年間の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別、傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表-1 事故種別出動件数及び搬送人員の状況

(単位：件，人，%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
平成25年	出動件数	76,165	100.0	44,101	57.9	6,405	8.4	10,087	13.2	15,572	20.4
	搬送人員	70,807	100.0	40,742	57.5	6,353	9.0	9,462	13.4	14,250	20.1
平成24年	出動件数	75,327	100.0	43,753	58.1	6,342	8.4	9,887	13.1	15,345	20.4
	搬送人員	69,677	100.0	40,142	57.6	6,372	9.1	9,247	13.3	13,916	20.0
増減	出動件数	838	—	348	—	63	—	200	—	227	—
	搬送人員	1,130	—	600	—	△ 19	—	215	—	334	—

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他)を示す。

ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると、高齢者、成人、乳幼児では、急病が半数を超える高い率を占めており、少年では他の年齢に比べ、交通事故が比較的高い比率を占めている。

表-2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人，%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
新生児	185	100.0	23	12.4	1	0.5	5	2.7	156	84.3	
乳幼児	2,682	100.0	1,655	61.7	175	6.5	584	21.8	268	10.0	
少年	2,455	100.0	965	39.3	651	26.5	319	13.0	520	21.2	
成人	23,354	100.0	12,658	54.2	3,862	16.5	2,102	9.0	4,732	20.3	
高齢者	42,131	100.0	25,441	60.4	1,664	3.9	6,452	15.3	8,574	20.4	
計	70,807	100.0	40,742	57.5	6,353	9.0	9,462	13.4	14,250	20.1	

(注) 新生児：生後28日未満の者
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
 少年：満7歳以上満18歳未満の者
 成人：満18歳以上満65歳未満の者
 高齢者：満65歳以上の者

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他)を示す。

イ 傷病程度別搬送人員

平成25年中における搬送人員は70,807人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の85.6%を占めている。

表-3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
火災	76	100.0			14	18.4	32	42.1	30	39.5		
自然災害												
水難	46	100.0	14	30.4	14	30.4	11	23.9	7	15.2		
交通事故	6,353	100.0	34	0.5	404	6.4	1,790	28.2	4,125	64.9		
労働災害	565	100.0	2	0.4	107	18.9	281	49.7	175	31.0		
運動競技	546	100.0			15	2.7	179	32.8	350	64.1	2	0.4
一般負傷	9,462	100.0	57	0.6	1,152	12.2	4,055	42.9	4,190	44.3	8	0.1
加害	281	100.0	1	0.4	9	3.2	87	31.0	184	65.5		
自損行為	557	100.0	44	7.9	110	19.7	256	46.0	145	26.0	2	0.4
急病	40,742	100.0	472	1.2	3,956	9.7	21,137	51.9	15,157	37.2	20	0.0
その他	12,179	100.0	12	0.1	3,746	30.8	7,935	65.2	458	3.8	28	0.2
計	70,807	100.0	636	0.9	9,527	13.5	35,763	50.5	24,821	35.1	60	0.1

※ 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

また、年齢別にみると、新生児、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年、成人の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表-4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比			
新生児	185	100.0	1	0.5	69	37.3	96	51.9	17	9.2	2	1.1
乳幼児	2,682	100.0	1	0.0	109	4.1	673	25.1	1,897	70.7	2	0.1
少年	2,455	100.0	1	0.0	106	4.3	796	32.4	1,550	63.1	2	0.1
成人	23,354	100.0	132	0.6	2,318	9.9	10,293	44.1	10,599	45.4	12	0.1
高齢者	42,131	100.0	501	1.2	6,925	16.4	23,905	56.7	10,758	25.5	42	0.1
計	70,807	100.0	636	0.9	9,527	13.5	35,763	50.5	24,821	35.1	60	0.1

- (3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況
 平成25年中の救急出動件数76,165件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の41,862件で全体の55.0%を占めている。

表-5 現場到着時間別出動件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着平均 所要時間	
							県	全国
急病	44,101	969	4,941	24,585	12,659	947	8.4分	—
交通事故	6,405	165	802	3,438	1,799	201	8.5分	—
一般負傷	10,087	278	1,134	5,526	2,899	250	8.5分	—
その他	15,572	783	3,755	8,313	2,499	222	6.8分	—
計	76,165	2,195	10,632	41,862	19,856	1,620	8.1分	8.5分
構成比	100.0%	2.9%	14.0%	55.0%	26.1%	2.1%	—	—

- 平成25年中の搬送人員70,807人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると搬送人員のうち42,376人（59.8%）が収容に30分以上要している。

表-6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	40,742	25	3,166	12,533	22,295	2,674	49	35.8分	—
交通事故	6,353	7	449	1,825	3,558	503	11	37.0分	—
一般負傷	9,462	7	693	2,723	5,264	753	22	37.1分	—
その他	14,250	20	2,657	4,326	5,595	1,592	60	35.7分	—
計	70,807	59	6,965	21,407	36,712	5,522	142	36.1分	39.3分
構成比	100.0%	0.1%	9.8%	30.2%	51.8%	7.8%	0.2%	—	—

搬送人員70,807人のうち99.3%は、転送なしで収容されているが、0.7%（522人）にあたる人は転送されている。

そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の99.2%を占めている。

表-7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	70,285	40,411	6,306	9,366	14,202	
転送	1回	518	331	44	96	47
	2回	4		3		1
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	522	331	47	96	48
計 (B)	70,807	40,742	6,353	9,462	14,250	
転送率 (A)/(B)×100	0.7	0.8	0.7	1.0	0.3	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外、ベッド満床の順になっている。

表-8 医療機関転送理由の状況

(単位：件，%)

区分	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他	
救急告示	構成比	100.0	3.3	25.1		0.5	45.9	0.5	24.6
		183	6	46		1	84	1	45
非告示	構成比	100.0	2.8	28.4	0.4	0.4	55.1		13.0
		285	8	81	1	1	157		37
計	構成比	100.0	3.0	27.1	0.2	0.4	51.5	0.2	17.5
		468	14	127	1	2	241	1	82

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成25年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定・血圧測定の順で処置が多くなっている。

表-9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他				
	応急処置対象 搬送人員	69,412	40,461	6,263	9,343	13,345				
止	血	1,840	182	395	1,041	222				
固	定	5,628	200	3,434	1,432	562				
人	工	呼	吸	305	210	10	27	58		
心	マ	ッ	サ	ー	ジ	111	75	4	10	22
心	肺	蘇	生	1,609	1,218	61	168	162		
酸	素	吸	入	16,300	10,071	729	826	4,674		
気	道	確	保	2,432	1,810	89	242	291		
(再掲)気道確保のうち気管挿管		202	138	2	53	9				
保	温	3,915	2,559	198	485	673				
被	覆	4,026	151	1,250	2,182	443				
在	宅	療	法	継	続	157	132	3	11	11
ショックパンツによる血圧保持		4	3		1					
除	細	動	184	161	5	11	7			
静脈路確保(輸液)		288	229	8	29	22				
薬	剤	投	与	75	61	4	7	3		
血	圧	測	定	64,141	37,939	6,033	8,708	11,461		
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		11,183	7,743	1,237	1,096	1,107				
血中酸素飽和度の測定		66,897	39,111	6,146	9,024	12,616				
心	電	図	25,008	18,944	1,043	1,655	3,366			
その他の応急処置		30,419	20,980	1,838	3,518	4,083				
計(再掲の気管挿管を除く)		234,522	141,779	22,487	30,473	39,783				

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成26年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ並びにえびのインターチェンジから人吉インターチェンジまでを沿線3市1組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成25年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表-10 九州自動車道

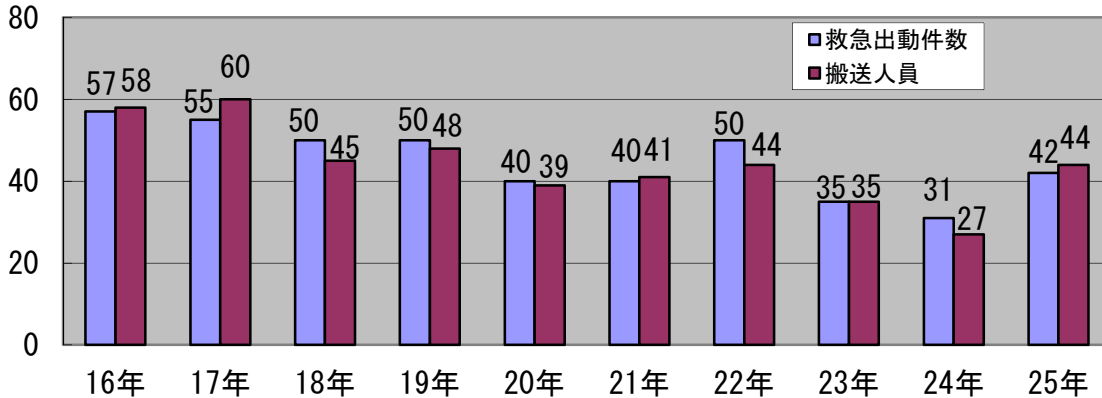
区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出動件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島			24	昭和63.3.29
	鹿児島北	5	4	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	7	7		昭和48.12.13
始良市消防本部	始良	8	7	1	昭和48.12.13
	加治木	2		1	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	4	6	3	平成17.11.7
	横川	2	1	1	平成17.11.7
伊佐湧水消防組合	栗野	4	4	3	昭和55.3.22
計	8 I C	32	29	36	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表-11 東九州自動車道

区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出動件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
霧島市消防局	国分	6	9	3	平成14.3.2
	隼人東	3	6	3	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	1			平成14.5.9
計	3 I C	10	15	6	

図-3 最近10年間の高速自動車道における救急出動件数及び搬送人員



3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、始良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議を行い、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、275名が認定を受け19消防本部で実施が可能となっている。また、平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与についても402名が認定・登録を受け、20消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成25年12月末までに応急手当指導員2,236名、応急手当普及員396名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

普通救命講習	896回	17,463名	受講
上級救命講習	13回	241名	受講
救急入門コース	354回	11,900名	受講
その他の講習	1,610回	53,823名	受講
計	2,873回	83,427名	受講

表-12 救急業務高度化の推進状況

各年4月1日現在

区分	平成26年	平成25年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	20	20		1.00
救急隊員数①	1,100	1,101	△ 1	1.00
うち救急救命士有資格者②	442	417	25	1.06
(②/①:%)	(40.2%)	(37.9%)		
(②のうち気管挿管認定者)	265	243	22	1.09
(②のうち薬剤投与認定者)	385	353	32	1.09
うち救急科（救急標準課程）・救急Ⅱ課程修了者③	652	673	△ 21	0.97
(③/①:%)	(59.3%)	(61.1%)		
救急自動車数④	139	139		1.00
うち高規格車⑤	95	87	8	1.09
(⑤/④:%)	(68.3%)	(62.6%)		
救急隊数⑥	107	107		1.00
うち救急救命士運用隊⑦	101	96	5	1.05
(⑦/⑥:%)	(94.4%)	(89.7%)		

※1 救急救命士については、上記442名の外、代替として救急業務に従事する資格者が24名及び救急自動車に乗車しない資格者が41名いる。（有資格者は、507名）

表-13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H22年 国調	面積 (km ²)	救 急 体 制										
			救急車総数 (台)			救急 隊数	救急 救命 士運 用隊 数 ※2	救急隊員数 (人)					
			うち 高規 格	うち 予備 車	計			うち資格者・修了者			専任	兼任	
								救急 救命 士	標準 課程	救急 Ⅱ課 程			
鹿児島市消防局	605,846	547.21	20	13	5	15	13	107	58	40	9	61	46
枕崎市消防本部	23,638	74.88	3	2	1	2	2	30	9	14	7		30
出水市消防本部	55,621	330.06	4	3	1	3	3	16	12	4		16	
垂水市消防本部	17,248	162.03	3	2	1	2	1	38	11	23	4		38
薩摩川内市消防局	99,589	683.50	9	4	2	7	7	66	27	33	3	29	37
日置市消防本部	50,822	253.06	4	3	1	3	3	13	13			13	
霧島市消防局	127,487	603.68	8	8		8	8	46	41	5		41	5
いちき串木野市 消防本部	31,144	112.04	3	3	1	2	2	39	11	19	8		39
南さつま市消防本部	38,704	283.37	5	3		5	5	70	19	45	6	19	51
始良市消防本部	74,809	231.31	5	4	2	3	3	44	18	24	2	44	
さつま町消防本部	24,109	303.96	3	3	1	2	2	18	9	7	2	8	10
指宿南九州消防組合	83,461	506.86	9	6	1	8	8	99	32	63	4		99
阿久根地区消防組合	34,259	250.55	6	3	2	4	3	56	15	29	12		56
伊佐湧水消防組合	40,899	536.69	6	3	1	5	3	57	19	27	11		57
大隅曾於地区消防組合	86,470	781.22	9	8	2	7	7	39	31	6	2	39	
大隅肝属地区消防組合	146,834	1,160.20	11	11	1	10	10	73	29	40	2	31	42
沖永良部与論地区 広域事務組合	19,247	114.15	4	2	2	2	2	31	12	10	9		31
徳之島地区消防組合	25,587	247.91	4	1	1	3	3	46	10	16	20		46
熊毛地区消防組合	45,454	994.96	10	6	4	6	6	86	32	27	27		86
大島地区消防組合	73,939	878.34	13	7	3	10	10	126	34	53	39	8	118
計	1,705,167	9,055.98	139	95	32	107	101	1,100	※1 442	485	167	309	791

※1 救急救命士については、上記442名の外、代替として救急業務に従事する資格者が24名及び救急自動車に乗車しない資格者が41名いる。（有資格者は、507名）

※2 救急救命士運用隊数は、一部運用も含む。

[現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成25年中、左記以外は平成26年4月1日現在]

医療機関数 (件)											人口 10万人 当たりの救急 医療機関数	現場 到着 平均 所要 時間 (分)	収容 平均 所要 時間 (分)
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関							
	国 公 立	公 的	私 的		計	国 公 立	公 的	私 的		計			
病 院			診 療 所	病 院				診 療 所					
641	3	3	26	3	35	15	6	67	518	606	5.8	8.0	31.7
19	1		3		4			4	11	15	16.9	4.8	27.7
40	2				2	1		4	33	38	3.5	7.7	34.3
11	1		1		2				9	9	11.6	5.9	38.2
133		1	5		6	16	4	10	97	127	6.0	8.9	34.6
44			1		1	1		7	35	43	2.0	8.7	40.4
90	1		4	1	6	1		8	75	84	4.7	8.7	41.4
30								8	22	30		5.8	34.0
38	2		1		3	3		4	28	35	7.8	7.1	34.4
104			2		2	3		10	89	102	2.7	6.6	33.3
21								5	16	21		9.1	42.1
66	1		3	2	6			14	46	60	7.2	6.2	34.0
21			2		2	2		1	16	19	5.8	8.4	42.3
27	1		2		3			4	20	24	7.3	7.7	38.4
64			1	1	2			9	53	62	2.3	9.0	44.2
96	2		5	2	9	1		14	72	87	6.1	9.4	41.4
12			2		2				10	10	10.5	7.5	26.8
13			2		2	1		1	9	11	7.8	8.7	36.3
25	1		2		3	4		2	16	22	6.6	8.8	39.7
89	1		4		5	7		5	72	84	6.8	9.3	40.9
1,584	16	4	66	9	95	55	10	177	1,247	1,489	5.6	8.1	36.1

表-14 消防本部救急出動件数及び搬送人員

区分		事故種別救急出動件										
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
消防本部名												
鹿児島市消防局		25,752	102		14	2,328	173	150	3,353	146	321	15,055
枕崎市消防本部		1,051			4	87	9	7	142	3	12	553
出水市消防本部		2,183	3			238	23	22	274	8	21	1,271
垂水市消防本部		989	2		3	73	8	1	111	1	7	576
薩摩川内市消防局		3,874	16		9	266	26	40	508	15	35	2,207
日置市消防本部		2,200	2		6	194	15	24	280	12	9	1,199
霧島市消防本部		5,529	12		4	691	44	62	681	26	59	3,091
いちき串木野市消防本部		1,223			1	104	7	5	159	2	6	631
南さつま市消防本部		1,897			1	141	14	28	283	1	9	975
始良市消防本部		3,170	1		3	285	24	28	472	26	43	1,772
さつま町消防本部		1,028				83	11	1	144	4	11	562
指宿南九州消防組合		3,788	4		4	296	40	48	491	10	46	1,958
阿久根地区消防組合		2,235	3		3	125	14	17	274	5	13	1,334
伊佐湧水消防組合		1,784	4		3	113	16	6	224	5	30	962
大隅曾於地区消防組合		3,991	6		1	337	50	20	557	11	60	2,455
大隅肝属地区消防組合		6,698	8		5	630	42	34	824	18	67	3,892
沖永良部与論地区 広域事務組合		766			8	43	9	6	124	2	10	461
徳之島地区消防組合		1,822	1		2	82	9	15	255	16	12	1,294
熊毛地区消防組合		2,134	2		7	98	17	16	305	10	24	1,388
大島地区消防組合		4,051	6		10	191	21	28	626	24	33	2,465
計		76,165	172		88	6,405	572	558	10,087	345	828	44,101
時 間 区 分	0~2	3,294	4		7	152	6	1	366	63	45	2,373
	2~4	2,567	7		2	108	6		268	38	29	1,921
	4~6	2,637	7		7	128	8	1	272	20	48	1,995
	6~8	4,968	7		5	621	18	2	716	16	68	3,266
	8~10	9,110	18		3	836	113	38	1,283	17	85	4,974
	10~12	9,646	18		11	743	110	126	1,216	8	79	4,664
	12~14	8,905	17		13	699	89	115	1,097	12	78	4,452
	14~16	8,238	20		13	744	98	117	1,176	14	84	4,099
	16~18	8,235	30		15	947	78	75	1,172	25	76	4,232
	18~20	7,671	19		9	756	22	38	1,062	28	98	4,717
	20~22	6,149	14		2	400	9	39	832	37	72	4,143
	22~24	4,745	11		1	271	15	6	627	67	66	3,265

〔平成25年中〕

数 (件)				事故種別搬送人員 (人)											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資輸 機材 等送	その他												
3,356	2		752	23,692	18		3	2,283	171	145	3,154	126	227	13,943	3,622
221	9		4	999			3	89	9	7	140	2	7	520	222
310	2		11	2,003	3			248	22	19	243	6	13	1,141	308
204	3			954	2		2	82	8	1	108	1	6	541	203
709	5		38	3,607	2		6	277	26	40	487	12	19	2,062	676
457			2	2,124	2		5	202	15	24	270	13	6	1,133	454
828	20		11	5,066	10		1	602	44	61	625	21	38	2,835	829
308				1,165			1	108	7	5	149	2	5	583	305
442			3	1,840				142	13	28	277	2	9	926	443
509	1		6	2,969	2			283	24	28	442	15	30	1,637	508
210	2			956	1			81	11	1	134	1	8	509	210
885	2		4	3,628	6		2	306	40	46	469	7	27	1,843	882
440			7	2,122	3		1	120	13	17	267	5	8	1,245	443
413			8	1,694	5		1	116	17	6	212	5	16	902	414
487			7	3,796	6		1	334	51	20	542	10	38	2,307	487
1,149	2	1	26	6,386	8		4	661	41	35	799	14	48	3,631	1,145
89		1	13	709			6	38	10	5	116	1	9	436	88
136				1,786	1		2	85	9	15	254	13	7	1,263	137
235	20	1	11	2,002	2		5	111	16	16	285	9	16	1,308	234
598			49	3,309	5		3	185	18	27	489	16	20	1,977	569
11,986	68	3	952	70,807	76		46	6,353	565	546	9,462	281	557	40,742	12,179
201		1	75	2,924	3		2	147	6	1	329	51	34	2,150	201
139			49	2,338	3		1	108	6		248	30	23	1,778	141
106			45	2,391	5		3	127	8	1	245	13	37	1,844	108
193			56	4,571	2			594	17	2	679	17	45	3,022	193
1,636	12		95	8,522	8		2	793	109	38	1,224	17	49	4,626	1,656
2,545	18	1	107	9,165	12		6	765	110	123	1,161	7	49	4,337	2,595
2,212	17		104	8,360	7		8	695	87	111	1,046	10	49	4,103	2,244
1,763	10		100	7,739	9		5	764	99	115	1,110	9	57	3,779	1,792
1,459	11		115	7,733	13		12	957	77	72	1,109	20	53	3,912	1,508
849		1	72	7,082	2		5	744	22	38	987	25	60	4,336	863
529			72	5,675	8		1	394	9	39	771	30	55	3,842	526
354			62	4,307	4		1	265	15	6	553	52	46	3,013	352

表-15 曜日別月別救急出動件数

(平成25年中)

事故種別 (件)	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計	
											転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その 他		
区分																
曜日別	月	25		18	913	68	45	1,512	45	132	6,417	1,864	7	1	143	11,190
	火	28		16	961	102	24	1,427	49	132	6,327	1,903	11	1	111	11,092
	水	32		12	913	101	47	1,381	49	111	5,934	1,821	6		132	10,539
	木	20		12	909	98	50	1,253	35	119	6,123	1,824	9	1	118	10,571
	金	28		11	978	75	55	1,366	36	103	6,202	2,006	13		134	11,007
	土	15		8	971	89	134	1,552	59	122	6,381	1,559	11		153	11,054
	日	24		11	760	39	203	1,596	72	109	6,717	1,009	11		161	10,712
計	172		88	6,405	572	558	10,087	345	828	44,101	11,986	68	3	952	76,165	
月別	1月	20		4	504	33	38	907	31	62	4,313	1,077	7		96	7,092
	2月	11		5	419	39	20	763	27	63	3,617	1,020	6		53	6,043
	3月	14		7	526	52	39	832	38	90	3,732	1,044	8		86	6,468
	4月	16		7	503	38	28	802	27	61	3,387	1,032	4	1	78	5,984
	5月	16		5	563	49	44	830	32	66	3,370	929	8	1	79	5,992
	6月	12		12	557	40	53	755	28	94	3,326	977	6		85	5,945
	7月	12		6	579	58	73	889	26	72	3,976	998	3		98	6,790
	8月	15		13	576	62	56	881	21	64	4,036	974	4		84	6,786
	9月	21		9	493	52	70	776	20	71	3,310	865	3		76	5,766
	10月	13		6	551	46	70	843	28	66	3,402	968	9		66	6,068
	11月	10		9	543	51	51	866	27	59	3,497	980	3		69	6,165
	12月	12		5	591	52	16	943	40	60	4,135	1,122	7	1	82	7,066

第4 応急手当指導員等養成講習の状況

表-16

【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成25年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	74	70			4	8	13
	応急手当指導員講習Ⅱ	26	26					
	応急手当指導員講習Ⅲ							
	消防長認定者	67	59	6		2	15	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	4	4					
	計	171	159	6		6	23	13
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	380	316	11		53	13	12
	応急手当指導員講習Ⅱ	1,075	450		625			
	応急手当指導員講習Ⅲ	2	1			1		
	消防長認定者	502	441	22		39	17	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	106	101	3		2		
	計	2,065	1,309	36	625	95	30	12
合計	2,236	1,468	42	625	101	53	25	

表-17

【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数	
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他			
平成25年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	72	3		29		40	16	3
	応急手当普及員講習Ⅱ								
	消防長認定者								
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者								
	計	72	3		29		40	16	3
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	306	32		67	2	205	59	18
	応急手当普及員講習Ⅱ								
	消防長認定者	18					18		
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者								
	計	324	32		67	2	223	59	18
合計	396	35		96	2	263	75	21	

第 2 救助活動の概況

1 救助業務実施体制

平成26年4月1日現在、救助隊は28隊配置されており、そのうち5隊が特別救助隊で、1隊が高度救助隊である。

また、335人の救助隊員のうち32.2%にあたる108人が専任救助隊員である。

表-18 救助体制

(単位：隊、人)

区分	救助隊数			救助隊員数			
	省令	専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
消防本部							
鹿児島市消防局	3	3		3	42		42
	4	2		2	28		28
	5	1		1	14		14
枕崎市消防本部	3		1	1		10	10
	4						
	5						
出水市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
垂水市消防本部	3		1	1		5	5
	4						
	5						
薩摩川内市消防局	3	1	1	2	10	10	20
	4	1		1	10		10
	5						
日置市消防本部	3		1	1		12	12
	4						
	5						
霧島市消防局	3		2	2	4	30	34
	4						
	5						
いちき串木野市消防本部	3		1	1		10	10
	4						
	5						
南さつま市消防本部	3		1	1		12	12
	4						
	5						
始良市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
さつま町消防本部	3		1	1		15	15
	4						
	5						
指宿南九州消防組合	3		1	1		10	10
	4						
	5						
阿久根地区消防組合	3		1	1		21	21
	4						
	5						
伊佐湧水消防組合	3		2	2		10	10
	4						
	5						
大隅曾於地区消防組合	3	2		2	16		16
	4	1		1	8		8
	5						
大隅肝属地区消防組合	3	1	2	3	10	30	40
	4	1		1	10		10
	5						
沖永良部与論地区広域事務組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
徳之島地区消防組合	3		1	1		19	19
	4						
	5						
熊毛地区消防組合	3		1	1		18	18
	4						
	5						
大島地区消防組合	3	1		1	10		10
	4						
	5						
県計	3	10	18	28	108	227	335
	4	5		5	56		56
	5	1		1	14		14

※ 省令3は省令第3条の規定による救助隊、省令4は省令4条の規定による救助隊（特別救助隊）、省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表-19 救助隊が搭乗する車両

区分	救 助 車	はしご車	屈 折 はしご車	ポンプ車	水 槽 付 ポンプ車	化 学 車	そ の 他	計
	消防本部							
鹿児島市消防局	3							3
枕崎市消防本部	1		1					2
出水市消防本部	1	1						2
垂水市消防本部					1		1	2
薩摩川内市消防局	1				1			2
日置市消防本部	1							1
霧島市消防局	2	1			1			4
いちき串木野市消防本部	1	1						2
南さつま市消防本部	1	1					1	3
始良市消防本部	1							1
さつま町消防本部	1							1
指宿南九州消防組合	1	1			5	1		8
阿久根地区消防組合	1							1
伊佐湧水消防組合	2							2
大隅曾於地区消防組合	2	1			2		2	7
大隅肝属地区消防組合	1	1					1	3
沖永良部与論地区 広域事務組合	1							1
徳之島地区消防組合	1							1
熊毛地区消防組合	1							1
大島地区消防組合	1	1						2
県 計	24	8	1		10	1	5	49

2 救助業務実施状況

平成25年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数792件、救助活動件数490件、救助人員601人となっている。（表-20）

これを前年と比較すると出動件数は67件（7.8%）の減少、活動件数は100件（16.9%）の減少、救助人員は260人（30.2%）の減少となっている。

表-20 過去20年間の救助業務実施状況の推移

（単位：件、人）

	出動件数	活動件数	救助人員
平成6年	1,221	307	358
平成7年	1,049	306	332
平成8年	1,126	330	344
平成9年	1,138	359	415
平成10年	1,107	405	440
平成11年	1,137	428	495
平成12年	1,093	500	583
平成13年	1,158	519	594
平成14年	1,188	505	613
平成15年	1,153	458	548
平成16年	1,320	491	570
平成17年	1,259	591	552
平成18年	757	452	664
平成19年	772	484	732
平成20年	716	462	527
平成21年	771	509	669
平成22年	713	480	629
平成23年	765	478	670
平成24年	859	590	861
平成25年	792	490	601

表-21-1 事故種別出動件数及び出動人員の状況（平成25年）

（単位：件、人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風害等	機械による事故	建築物等事故	ガス欠事故及び	破裂事故	その他の事故	計
消防本部											
鹿児島市消防局	2	51	10			2	12	3		51	131
枕崎市消防本部	2	8	5					1		1	17
出水市消防本部	1	12	1				1				15
垂水市消防本部		10	2			1				3	16
薩摩川内市消防局	2	24	9				3			9	47
日置市消防本部		21	2								23
霧島市消防局		59	4			1	3			20	87
いちき串木野市消防本部		15	1				2			5	23
南さつま市消防本部	1	22	1			2				5	31
始良市消防本部		51	3	1				1		36	92
さつま町消防本部		12								3	15
指宿南九州消防組合		22	5			2	2	1		9	41
阿久根地区消防組合		9	3			2				9	23
伊佐湧水消防組合		18	4							2	24
大隅曾於地区消防組合		53	3			4				14	74
大隅肝属地区消防組合	1	42	3			3	1			15	65
沖永良部与論地区広域事務組合		1	3			3				3	10
徳之島地区消防組合		2				1				3	6
熊毛地区消防組合		4	1							13	18
大島地区消防組合		19	7	1						7	34
救助出動件数 計	9	455	67	2	21	24	6			208	792
救助出動人員	専任救助隊員	27	743	114	3	29	80	18		486	1,500
	兼任救助隊員	11	742	105	2	46	15	5		207	1,133
	消防隊員	122	1,123	249	11	34	57	40		554	2,190
	救急隊員	23	1,817	199	3	75	57	15		559	2,748
	消防団員	31	12	24						9	76
	計	214	4,437	691	19	184	209	78		1,815	7,647

表-21-2 事故種別活動件数及び活動人員の状況（平成25年）

（単位：件，人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建築物等	ガス事故及び	破裂事故	その他の事故	計
消防本部											
鹿児島市消防局	2	38	8			1	11	2		40	102
枕崎市消防本部	2	3	5					1		1	12
出水市消防本部	1	12	1				1				15
垂水市消防本部		9	2			1				3	15
薩摩川内市消防局	2	14	8				2			6	32
日置市消防本部		11	2								13
霧島市消防局		23				1	2			11	37
いちき串木野市消防本部		9	1				1			3	14
南さつま市消防本部	1	6				1				4	12
始良市消防本部		49	2	1				1		30	83
さつま町消防本部		5								1	6
指宿南九州消防組合		16	3			1	2	1		9	32
阿久根地区消防組合		4	3							2	9
伊佐湧水消防組合		7	1								8
大隅曾於地区消防組合		19	3			3				5	30
大隅肝属地区消防組合	1	19				3				7	30
沖永良部与論地区広域事務組合			3			3				2	8
徳之島地区消防組合		1				1				3	5
熊毛地区消防組合		4	1							12	17
大島地区消防組合		2	4	1						3	10
救助活動件数 計	9	251	47	2	15	19	5			142	490
救助活動人員	専任救助隊員	14	306	67	3	16	50	10		225	691
	兼任救助隊員	5	326	69	2	34	6	5		90	537
	消防隊員	20	537	157	11	20	38	23		340	1,146
	救急隊員	10	795	122		54	39	9		314	1,343
	消防団員		7	24							31
	計	49	1,971	439	16	124	133	47		969	3,748

（注）「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表-21-3 事故種別救助人員の状況（平成25年）

（単位：人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建築物等	ガス事故及び	破裂事故	その他の事故	計
消防本部											
鹿児島市消防局	1	46	7			1	9	1		31	96
枕崎市消防本部		4	5					1		1	11
出水市消防本部	1	13	1				1				16
垂水市消防本部		12	2			1				3	18
薩摩川内市消防局	2	16	8				2			11	39
日置市消防本部		14	3								17
霧島市消防局		29				1	2			11	43
いちき串木野市消防本部		14	1				1			3	19
南さつま市消防本部		9				1				4	14
始良市消防本部		76	2					1		30	109
さつま町消防本部		6								1	7
指宿南九州消防組合		20	3			1	2	1		10	37
阿久根地区消防組合		4	3							2	9
伊佐湧水消防組合		12	1								13
大隅曾於地区消防組合		27	2			3				5	37
大隅肝属地区消防組合	1	24				3				7	35
沖永良部与論地区広域事務組合			22			14				7	43
徳之島地区消防組合		1				1				2	4
熊毛地区消防組合		6	3							14	23
大島地区消防組合		2	4	2						3	11
救助人員計	5	335	67	2	26	17	4			145	601

表-22 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般 用 救 助 用 器 具	かぎ付きはしご	31	隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	116	
	三連はしご	30		耐電衣	39	
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	17		耐電ズボン	37	
	空気式救助マット	22		耐電長靴	73	
	救命索発射銃	34		防塵メガネ	128	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	91		携帯警報器	85	
	平担架	14		防毒マスク	68	
	重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ		32	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	13
		油圧スプレッダー		12	陽圧式化学防護服	44
		可搬ウィンチ		32	耐熱服	18
マンホール救助器具		18	放射線防護服	63		
救助用簡易起重機		2	特殊ヘルメット	7		
マット型空気ジャッキ		34	除器 染 用 具	除染シャワー	1	
大型油圧スプレッダー		18	除染剤散布器	2		
救助用支柱器具		11	水 難 救 助 用 器 具	潜水器具	88	
チェーンブロック		10		救命胴衣	252	
切 断 用 器 具		油圧切断機		21	水中投光器	17
	エンジンカッター	29		救命浮環	82	
	ガス溶断機	20		浮標	24	
	チェーンソー	34		救命ボート	13	
	鉄線カッター	45		船外機	12	
	空気鋸	29		水中スクーター	1	
	大型油圧切断機	18		水中無線機	3	
	空気切断機	15		水中時計	17	
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	6	水中テレビカメラ	2		
	破 壊 用 器 具	万能斧	67	山用 器 具	登山器具	19
ハンマー		37	救 具	バスケット型担架	37	
携帯用コンクリート破壊器具		15	検 用 器 具	簡易画像探索機	6	
削岩機		18	高 度	画像探索機	8	
ハンマドリル		12	救 助 器 具	地中音響探知機	2	
測 定 用 器 具	生物剤検知器	2	熱画像直視装置	5		
	可燃性ガス測定器	20	夜間暗視装置	2		
	有毒ガス測定器	23	水中探査装置	2		
	酸素濃度測定器	18	地震警報器	1		
	放射線測定器	48	そ の 他 の 救 助 用 器 具	投光器	55	
呼 吸 保 護 用 器 具	空気呼吸器	163		携帯投光器	42	
	空気補充用ポンペ	231		携帯拡声器	52	
	酸素呼吸器	31		携帯無線機	55	
	簡易呼吸器	13		応急処置用セット	22	
	防塵マスク	115		車両移動器具	13	
	送排風機	27		緩降機	24	
	エアラインマスク	2		ロープ登降機	42	
				救助用降下機	28	
				発電機	56	

第3 自衛隊災害派遣による離島急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第1航空群 鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）
十島村以北

陸上自衛隊第15旅団 第15飛行隊（沖縄県那覇市）
奄美大島以南

1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

平成25年中における急患搬送出動件数は97件である。（図-3）

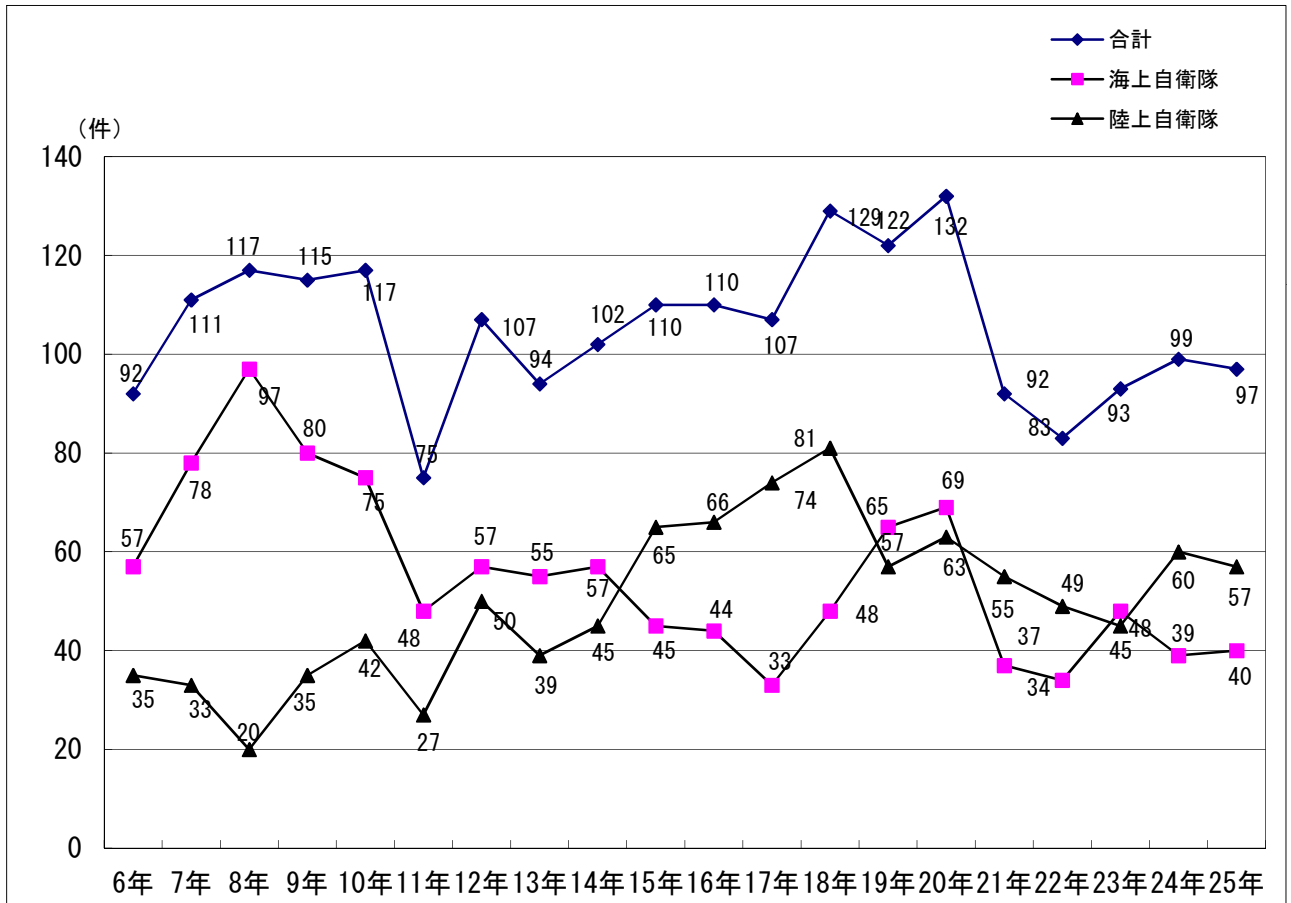
出動件数を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が66件（全体の68.0%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が23件（同23.7%）、鹿児島郡が5件（同5.2%）、薩摩川内市が3件（同3.1%）となっている。

（図-4及び表-23）

また、月別では、7月の15件が最も多く、時間帯別（派遣要請時間）では18時から20時までが16件で最も多くなっている。（表-24）

平成25年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが38人（全体の39.6%）で最も多く、次に産科・婦人科系が21人（同21.9%）となっている。（表-25及び表-26）

図-3 過去20年間の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図-4 過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）

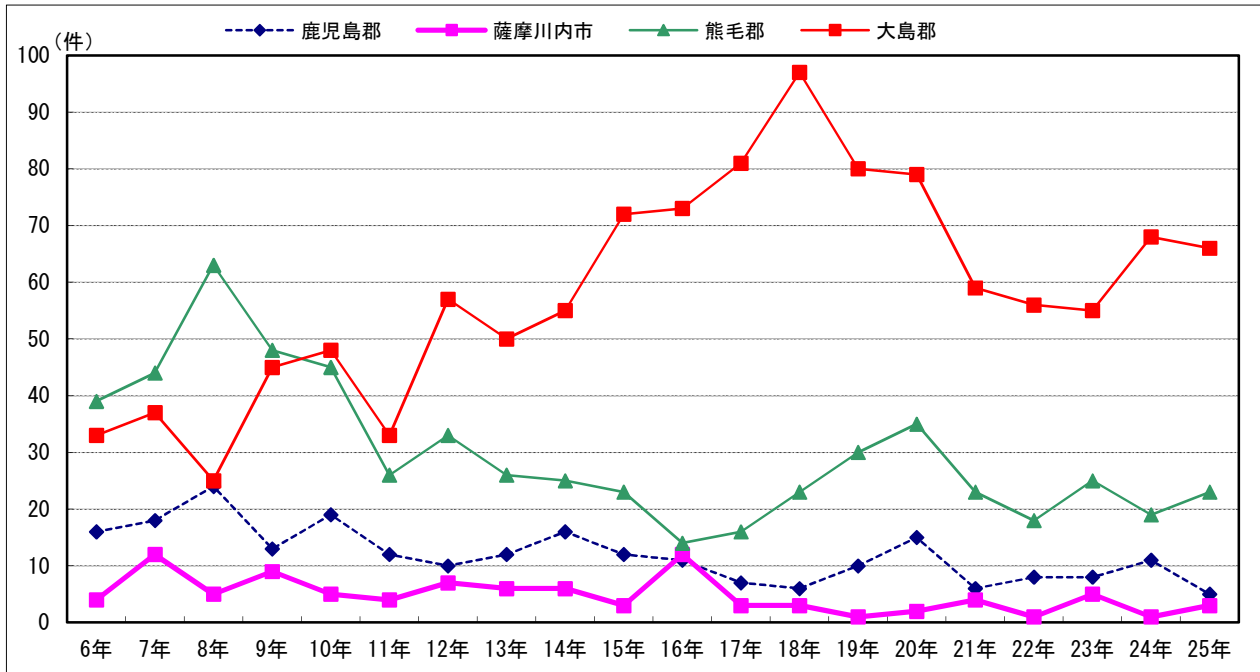


表-23 過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2）

（年中）

年	郡別	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊本郡	大島郡	計のうち不搬送件数
平成 6 年		92 (35)	16 (2)	4	39	33 (33)	沖縄1件
7		111 (33)	18	12	44	37 (33)	
8		117 (21)	24	5	63	25 (21)	
9		115 (35)	13	9	48	45 (35)	鹿屋1件
10		117 (42)	19	5	45	48 (42)	鹿屋1件
11		75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
12		107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋2件
13		94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
14		102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
15		110 (65)	12	3	23	72 (65)	
16		110 (66)	11	12	14	73 (66)	
17		107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18		129 (81)	6 (1)	3	23	97 (80)	鹿屋1件
19		122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋2件, 沖縄2件
20		132 (63)	16	2	35	79 (63)	鹿屋1件
21		92 (55)	6	4	23	59 (55)	
22		83 (49)	8 (1)	1	18	56 (48)	鹿屋1件, 沖縄2件
23		93 (45)	8	5	25	55 (45)	鹿屋1件, 沖縄1件
24		99 (60)	11	1	19	68 (60)	沖縄1件
25		97 (57)	5	3	23	66 (57)	沖縄1件
計		2,104 (999)	241 (4)	96	598	1169 (995)	沖縄分構成比 (47.5%)
構成比率		100.0%	11.5%	4.6%	28.4%	55.6%	

（注） 1 （ ）内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。

2 便宜上、熊本郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。

余 白

表-24 過去20年間の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

区分		年別	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
月	1	10 (4)	11 (4)	8 (1)	9 (2)	10 (2)	5 (1)	12 (8)	8 (5)	5 (2)	5 (2)	
	2	7 (1)	12 (8)	12 (4)	11 (4)	13 (5)	5 (2)	12 (6)	5 (3)	8 (5)	4 (4)	
	3	6 (1)	6 (1)	7 (2)	8 (3)	11 (6)	13 (5)	4 (1)	8 (2)	8 (4)	13 (5)	
	4	7 (2)	7 (1)	7 (2)	15 (9)	13 (4)	4 (3)	6 (3)	5 (2)	2 (1)	8 (5)	
	5	7 (5)	10 (4)	9	8 (2)	8 (3)	9 (4)	9 (6)	6 (1)	11 (3)	11 (9)	
	6	6 (3)	7	7 (1)	7 (1)	9 (7)	2	11 (6)	7 (5)	5 (4)	12 (5)	
	7	11 (5)	8 (2)	13 (1)	7 (2)	11 (6)	11 (5)	7 (4)	6 (3)	13 (7)	9 (5)	
	8	5 (2)	11 (4)	14 (3)	12 (2)	10 (1)	5	9 (4)	8 (2)	7 (4)	5 (3)	
	9	12 (6)	10 (4)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	4 (2)	7 (1)	10 (4)	14 (3)	8 (7)	
	10	8 (3)	15 (2)	10 (2)	14 (4)	10 (4)	3 (2)	12 (4)	9 (4)	13 (5)	13 (5)	
	11	5	7 (2)	5 (1)	8 (1)	3 (1)	6	12 (5)	17 (4)	8 (2)	11 (7)	
	12	8 (3)	7 (1)	16 (2)	13 (4)	15 (2)	8 (3)	6 (2)	5 (4)	8 (5)	11 (8)	
計		92 (35)	111 (33)	117 (21)	115 (35)	117 (42)	75 (27)	107 (50)	94 (39)	102 (45)	110 (65)	
時間帯	0~2	6 (2)	2	6 (3)	3 (1)	2	4	5 (1)	2 (1)	6	10 (6)	
	2~4	1	3 (2)	4	3	1 (1)		5 (1)	5 (3)	9 (4)	2 (1)	
	4~6	1	2	2	5 (2)	4 (2)	1 (1)	10 (8)	6 (1)	3 (1)	2	
	6~8	2	5 (2)	6	7 (3)	4 (3)	3	4 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	
	8~10	10 (3)	8 (1)	11 (2)	7 (3)	11 (6)	8 (4)	11 (9)	6 (4)	11 (6)	19 (16)	
	10~12	18 (7)	17 (4)	13 (2)	20 (9)	17 (7)	8 (7)	9 (6)	12 (6)	12 (6)	21 (12)	
	12~14	15 (6)	17 (3)	13 (1)	11 (1)	20 (7)	8 (3)	4 (3)	8 (5)	8 (4)	9 (7)	
	14~16	12 (8)	21 (5)	18 (2)	13 (2)	15 (6)	11 (3)	8 (4)	8 (3)	8 (5)	6 (6)	
	16~18	6 (2)	9 (1)	10 (3)	13 (5)	14 (4)	12 (3)	14 (5)	16 (4)	12 (4)	12 (6)	
	18~20	10 (2)	13 (8)	18 (6)	21 (6)	10 (3)	8 (4)	17 (3)	8 (4)	16 (8)	5 (1)	
	20~22	3 (1)	9 (5)	5	8 (2)	14 (2)	8 (2)	10 (2)	9 (3)	9 (4)	14 (5)	
22~24	8 (4)	5 (2)	11 (2)	4 (1)	5 (1)	4	10 (6)	12 (3)	5	7 (3)		

(注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 「時間帯」は、自衛隊への派遣要請時間である。

(年中)

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	計
10 (6)	9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	12 (5)	7 (4)	11 (3)	3 (2)	14 (6)	189 (82)
15 (10)	8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	8 (8)	9 (7)	4 (4)	13 (8)	1 (1)	175 (103)
10 (4)	10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	4 (4)	3 (2)	9 (4)	5 (3)	9 (6)	174 (83)
9 (5)	10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	6 (4)	7 (3)	5 (1)	11 (5)	7 (3)	158 (76)
7 (6)	11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	9 (5)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	155 (84)
4 (3)	8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	7 (6)	6 (4)	8 (1)	8 (4)	8 (4)	148 (72)
7 (4)	7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	6 (5)	5 (3)	7 (6)	9 (6)	15 (7)	172 (90)
4 (2)	5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	10 (5)	6 (4)	6 (2)	9 (7)	2 (1)	162 (69)
15 (11)	8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	8 (3)	5 (4)	9 (5)	7 (5)	6 (5)	158 (78)
10 (7)	13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	9 (5)	11 (1)	10 (7)	9 (4)	10 (7)	218 (93)
11 (6)	8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	6 (1)	10 (4)	12 (4)	11 (8)	12 (8)	200 (79)
8 (2)	10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	7 (4)	9 (9)	7 (4)	9 (4)	8 (5)	195 (90)
110 (66)	107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	92 (55)	83 (49)	93 (45)	99 (60)	97 (57)	2104 (999)
6 (3)	3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	9 (3)	7 (6)	5	8 (5)	5 (4)	103 (43)
2 (1)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	3	5 (2)	4 (2)	6 (3)	68 (28)
5 (4)	4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	3 (1)	1 (1)	1	5 (2)	2 (1)	70 (33)
6 (3)	10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	2 (1)	1	1 (1)	5 (5)	3 (3)	82 (45)
13 (9)	7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	4 (2)	9 (6)	9 (4)	5 (5)	3 (3)	189 (101)
21 (15)	14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	13 (11)	9 (4)	10 (8)	9 (6)	10 (9)	285 (159)
11 (6)	11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	11 (7)	12 (6)	6 (2)	5 (2)	14 (9)	228 (113)
12 (10)	8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	9 (7)	11 (8)	5 (2)	7 (5)	5 (3)	210 (102)
9 (3)	14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	11 (5)	7 (5)	11 (8)	13 (8)	14 (8)	236 (109)
11 (7)	9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	10 (5)	5 (2)	14 (3)	15 (9)	16 (6)	251 (99)
9 (3)	14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	7 (5)	10 (6)	20 (12)	11 (6)	10 (4)	207 (91)
5 (2)	9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)	11 (7)	8 (5)	6 (3)	12 (5)	9 (4)	175 (76)